

SBI GROUP PHILOSOPHY

SBIグループの経営哲学

常に時流を捉えて、世のため人のためとなるような革新的な事業を創造するというのが、創業時からの私たちの想いです。同時に企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できるという考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指してきました。

また、私たちは人に「徳」があるように、企業にも「社徳」があり、仁徳のある人が周囲から尊敬されるように、企業も徳性を高めることで社会から尊敬されるものだと考えています。

これらの考え方に加え、継承するべきだと考えている企業文化のDNAが4つあります。それは、常にチャレンジし続けるために「起業家精神を持ち続けること」、「スピード重視」の意思決定と行動、過去の成功体験に捉われず「イノベーションを促進すること」、環境の変化を敏感に察知して「自己進化し続けること」です。これら4つのDNAを内包した企業文化を構築し、継承していくことで、持続的に成長する強い企業グループが維持されると考えています。

5つの 経営理念

01

正しい倫理的価値観を持つ

「法律に触れないか」、「儲かるか」ではなく、「それをすることが社会正義に照らして正しいかどうか」を判断基準として事業を行う。

02

金融イノベーターたれ

従来の金融のあり方に変革を与え、インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客便益性を高める金融サービスを提供する。

03

新産業クリエイターを目指す

21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなる。

04

セルフエボリューションの継続

経済環境の変化に柔軟に適応する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」が組織のDNAとして組み込まれた自己進化していく企業であり続ける。

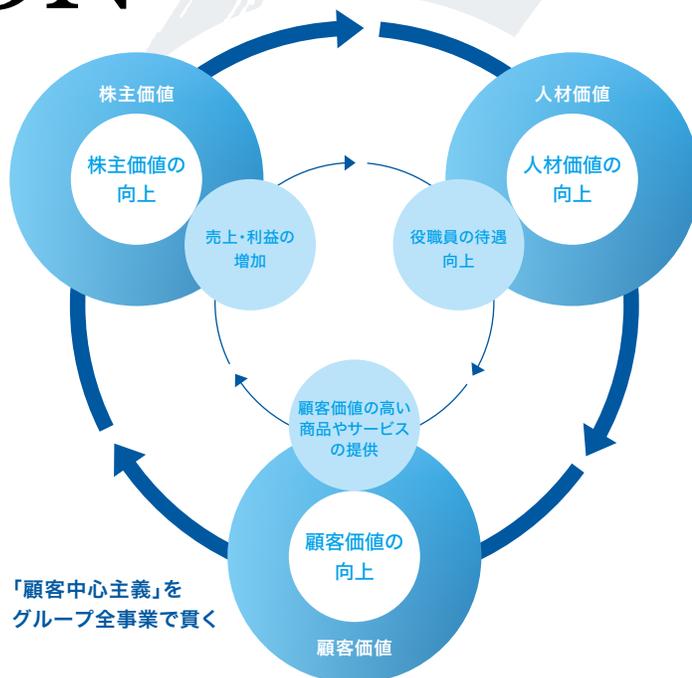
05

社会的責任を全うする

SBIグループ各社は、社会の一構成要素としての社会性を認識し、さまざまなステークホルダー（利害関係者）の要請に応えつつ、社会の維持・発展に貢献していく。

VALUE CREATION

企業価値向上のメカニズム



企業価値の定義

SBIグループでは、企業価値は顧客価値の創出を土台に、株主価値および人材価値を加えた3つの価値が相互に関連する好循環を生むことによって増大していくと認識しています。SBIグループが掲げる「顧客中心主義」の徹底により顧客価値が増大し、業績の向上につながることで、株主価値が高まり、より優秀な人材が集まるようになって人材価値の向上にも結びつくという考えです。この好循環を持続させ、中長期的な企業価値の向上を目指します。

事業活動と直接的な社会貢献活動による社会課題の解決

2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす「持続可能な開発目標(SDGs)」は、国際社会が目指す目標として国内外における関心が一層高まっています。

SDGsではグローバル社会が抱える、気候変動や経済的不平等、持続可能な消費と生産、平和といった様々な問題の解決に向け、行政機関や企業、市民が力を合わせて取り組むことが求められています。

SBIグループは創業以来、事業活動を通して社会課題の解決に取り組むとともに、事業を通じて得た利益を社会に還元するべく直接的な社会貢献活動を行うことで、社会の維持・発展に貢献することを目指してきました。これはSDGsで掲げられている目標に資するものです。

直接的な社会貢献活動としては、2010年に内閣総理大臣から公益財団法人に認定されたSBI子ども希望財団において、虐待された児童たちの自立支援や児童福祉の充実に取り組んでいます。また、会員制健康管理支援サービスを提供するSBIウェルネスバンクが提携・支援している東京国際ク

リニックでは、人間ドックをはじめ幅広い分野にわたり安全で質の高い医療を提供しています。

SBIグループは今後も、市民や企業が抱える社会課題に応えることで企業価値を向上させるとともに、SDGsをはじめとした国際的な規範を尊重し、常にグローバルな視野に立った企業活動を行っていきます。

